



「逆風が自分を育てる」

校長 安藤 秀一

◆年が明け、令和3年が始まりました。しかし、テレビや新聞では、相変わらず最初に話題となるのが「新型コロナウイルス」の感染状況です。昨年末から新規感染者数も急増しており、連日のように過去最高数値の更新が伝えられています。◆日常の学校生活も感染防止を徹底してここまでできましたが、気がつけば3か月後には新年度が始まります。それぞれが進級、進学し、この一年間の成長を示さなければなりません。でも、臨時休業や行事の中止等、例年のような学習や行事への取組が十分にできなかった今年度は、誰もが自身の成長に不安を感じていることでしょう。◆ウイルス感染の危険は身近に迫っており、緊急事態宣言が再発令され、再び不要不急の外出ができなくなりました。新年度を控えた大切な時期に、この状況を自分がどう受け取るかが今後の分水嶺になるかもしれません。「外出ができないからストレスが溜まる」と嘆くのか、外出せずに「STAY HOMEの時間を自分のために使える」と考えるのか、受け取り方の違いでまったく変わってきます。◆禍を転じて福とできる人は、逆境は自分や人生を飛躍させてくれるものだという肯定的な認識を持っているそうです。今までの当たり前がなくなってしまったこの新しい日常では、毎日のように逆風が吹いています。でも、その逆風がこれからの自分を育ててくれる力だとすれば、その逆風に耐え忍ぶことは必ずや大きな成長につながります。◆コロナ禍は、今後もしばらく続きそうな状況です。この逆風から逃げずにあえて苦難に挑戦すれば、未来の自分の笑顔に出会えるかもしれません。お互いに辛抱してこの冬を乗り越えましょう。



【うつらない・うつさない】～ 感染防止対策の再徹底～

昨年末からの新型コロナウイルス感染の急拡大を受けて、学校生活ならびに日常生活における感染防止対策の再徹底をお願いします。

- ①生徒に発熱等の体調不良が見られる場合は、無理をせず自宅で療養をさせてください。(出席停止扱いとなります)
- ②学校生活では、相手との“ハートフルディスタンス”をとり、マスクを正しく着用してください。



【コロナ禍における学校教育活動】～ 12/3 行田中学区3校合同学校運営協議会～



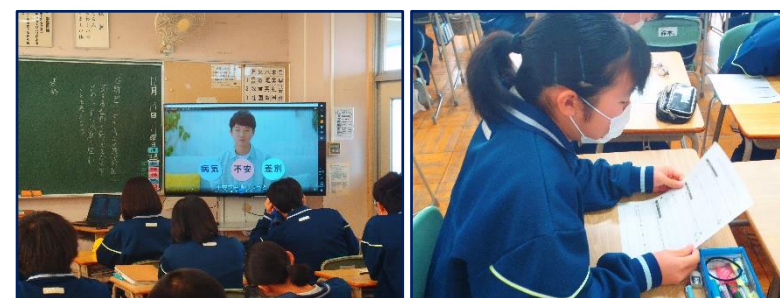
行田市教育文化センターで行田中学区内の南小学校、下忍小学校、行田中学校の学校運営協議会が合同開催されました。今年は、各校のコロナ禍での感染防止対策や学校行事の工夫など、例年とは違った取組が発表されました。学校の負担を少しでも軽減するために学校応援団や地域の方のご支援など、本校でも参考となるものが多くありました。

【健やかな心身は正しい姿勢から】～ 12/10 学校保健委員会～

日常生活で座る際は、腰骨を立てて曲げないようにすることにより、姿勢がよくなるだけでなく、さまざまな効果があると言われています。市内クリニックのリハビリテーション科から講師の先生を招いて、1年生が立腰指導の体験学習を行いました。



【誰も傷つけない】～ 12/14 偏見差別防止プロジェクト～



新型コロナウイルスに感染した人や感染症医療に従事している人等が誹謗中傷を受けるなどのトラブルが社会問題となっています。自らの恐怖心から、非のない人たちを責めてしまうことのないよう、3年生が文部科学省作成の「新型コロナウイルス“差別・偏見をなくそう”プロジェクト」を活用して学級活動を行いました。

【入試直前対策】～ 12/26～1/23 冬季フォローアップ教室～

夏季に続いて、冬季行田市フォローアップ教室を開催しています。前回同様に希望者を対象にして、国数社理英の5教科で入試対策問題を中心に生徒一人一人のつまずきや疑問に答えながら土曜日の午前中に3時間の学習を行っています。今月から始まる入試を控えて、前回以上に真剣に先生の説明を聞き、積極的に質問をして少しでも実力を高めようとする受験生の思いが伝わってきました。



【令和3年度埼玉県教科用図書選定審議会委員を公募しています】

埼玉県教科用図書選定審議会は、埼玉県教育委員会の諮問に応じ、教科用図書の選択に関する事項について調査・審議を行う機関です。義務教育諸学校で使用される教科用図書(教科書)について感心を持ち、広く県民の立場から意見を述べられる方を募集します。募集人員は1名。選考方法は、作文審査及び面接を経て委員を選考します。詳細をお知りになりたい方は、教頭までお問合せください。(TEL 048-554-9196)